

横長画面右利きレイアウトのBOX構造 (layout_SB1_n1)

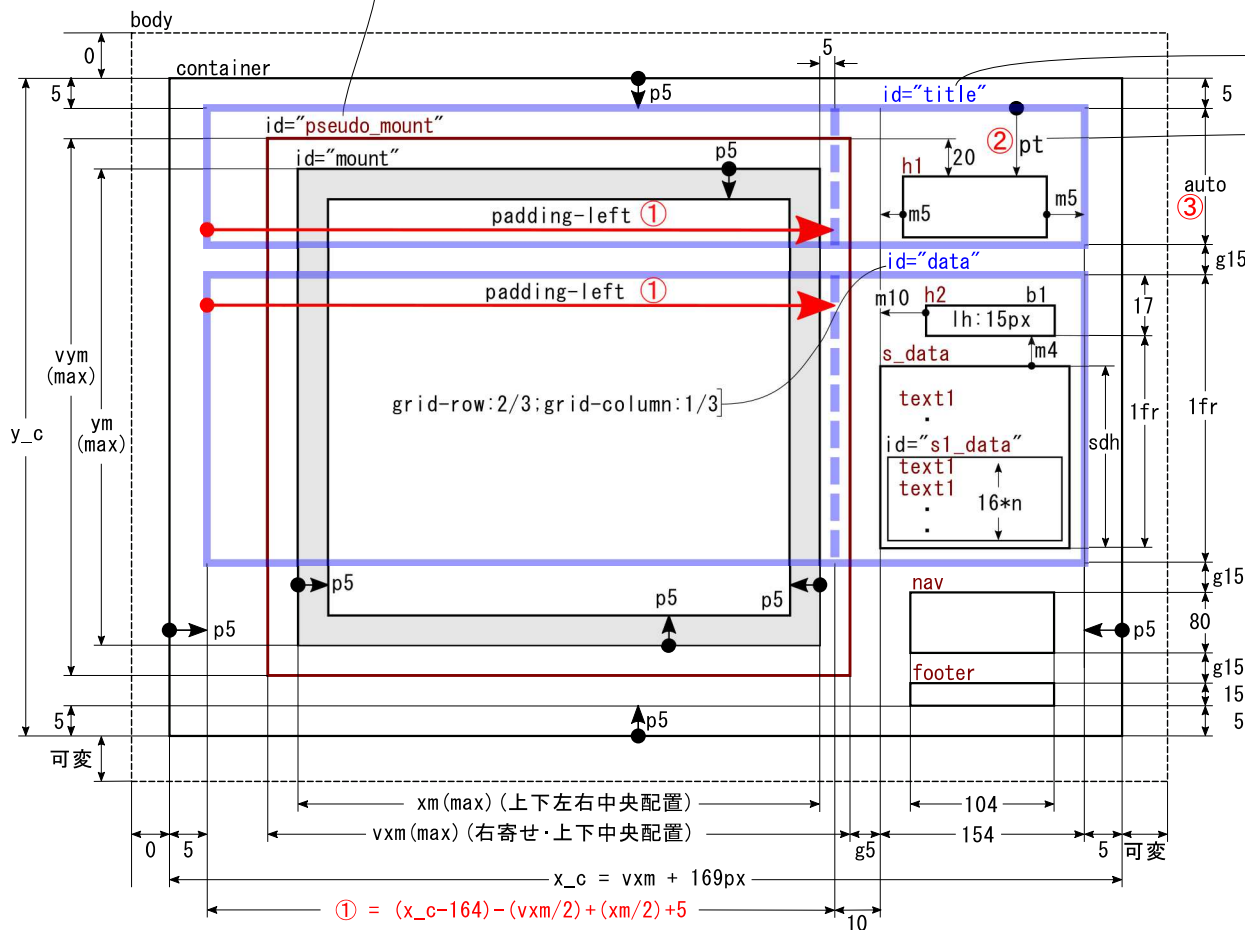
- titleの水平方向位置決め
- dataの水平方向位置決め
- h1の垂直方向位置決め

新規作成 2024.02.22
最終更新 2024.06.10

```
grid-row:1/5;grid-column:1/2
justify-self:end; 右揃え
align-self:center; 上下中央揃え
display:grid;
grid-template-rows:1fr;
grid-template-columns:1fr
```

box-sizing:content-box

凡例
p:padding
m:margin
g:gap
b:border
lh:line-height



grid-row: 1/2; grid-column: 1/3;

padding-top
② = (y_c - vvm) / 2 + 20 最小値25px

③ = document.getElementById('title').clientHeight
行数が少ない場合はその分がdataの1frに配分される

■ レイアウトの方法

- ブラウザ表示領域のサイズは「横サイズ >= 縦サイズ」、すなわち表示領域のアスペクト比は1以上。
- ブラウザ表示領域サイズにbodyのサイズを一致させる。
- containerサイズは最初にbodyのサイズを設定し、次にFullHDサイズ(1920×1080)を越える場合はFullHDサイズに設定し直す。
- containerはbodyの中で左上に配置する。
- 左右2カラム構成になっており、左カラムは可変サイズ(横縦1fr)で、右カラムの横幅は固定サイズ。
- 左カラムの写真は、Gridの1frの中で写真の縦横いずれかのサイズを限界値に合わせてレイアウトする。ただし写真のネイティブ画素数を上限とする。
- mountは写真を5pxの枠で縁取りする。
- pseudo_mountはmountを包含するaspect比3:2の枠で、左カラムの中で上下方向中央、左右方向右揃えで配置する。mountはpseudo_mountの中で上下左右とも中央配置する。
- 右カラムの高さは個別の写真ごとにタイトルの行数、撮影データの行数が異なることから各ページごとに固有の高さを持つ。titleは上揃え、data、nav、footerは下揃えで配置する。
- 右カラムのtitleは上下方向をpseudo_mountの上辺を基準に配置する。
- 右カラムは、containerのheightの変化による影響を次の方法で吸収する。
 - 右カラムが本来必要とする高さ以上にheightがある場合：titleとdataの間にスペースをとる。
 - 右カラムが本来必要とする高さ未満のheightしかない場合：dataの子要素のs_dataボックスに対してオーバーフロー処理を行う。

■ 動的に設定

- ① = (X_C - 164) - ((vxm/2) + (xm/2) + 5
- ② = (v_c - vvm) / 2

(pseudo_mountの横方向中心点から
右にmountの半分の位置から右に5px、
すなわちmountのpaddingの右端から5px)

164 = 5 + 154 + 5 左右Gap + 右カラム幅 + container右padding
169 = 5 + 5 + 154 + 5 container左padding + 左右Gap + 右カラム幅 + container右padding